

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：東京

グループ：3班

2022.9.19

オンラインの授業の理想は...

リアルと変わらないレベル感、スムーズさ！

オンラインの不便な点

- 授業中のコミュニケーションが少ない
- 伝達事項などを伝えづらい
- さまざまな要因（主にインターネット状況）に左右されやすく安定しない。
- 初期費用がかかる

授業中のコミュニケーションが少ない

◆オンライン授業の課題

聞いている側の反応が分からない



生徒の様子が見えないので
サボっていても伝わっていなくても気づけない

友達とのコミュニケーションも生まれない

授業中のコミュニケーションが少ない

◆これが起こる原因

人数が多いから、喋ってはいけないという雰囲気が出てしまう。

◆今すぐ出来ること

一コマあたり的人数を減らしたり、zoomのブレイクアウトルームを活用しグループディスカッションをするなど、活動単位を小さくする。

また、総合の時間や課外活動の時間をオンラインでも設ける。

人数を減らし、コミュニケーションを促進させる授業を行う。

伝達事項などを伝えづらい

◆現状の課題

課題の内容などが生徒に伝わらない

伝えた側が相手に伝わっているかどうか確認しづらい

伝達事項などを伝えづらい

◆出来ること（ちょっと大変だけど）

- ・伝える側が「伝達事項のみのツール」を作る。
→費用面でも最初が少し大変。（後述）

◆今すぐ出来ること

- ・見た人がスタンプなどのリアクションをするようにする
- ・先生が伝える時は、生徒の画面をロックするなどして他の事をしないようにする。

安定しない

◆現状の使いづらいところ

インターネット状況によって、参加者（クラスメンバー等）が全員揃うことはほぼない

また、オンラインで使用するデバイスや、回線の状況などの格差、デジタル・デバイドが発生する

安定しない

◆できる事

- ・授業を受けられないトラブルに見舞われた生徒向けに、数分おきに授業の概要をチャットに投稿する。
→分報のようなものを教育現場でも活用できるように
- ・学校側がiPad内蔵の回線のギガ数を多めに増やして提供する。
→回線や設備を提供する。
- ・学校のZoomが使えない場合は、使える人が個人LINEで画面を映す

初期費用がかかる

個人の費用

使用する端末、回線

企業や学校側の費用

回線、セキュリティー設備、管理する人材

初期費用がかかる

◆できる事（やってほしいこと）

- 学校とか団体側の支援が大事になってくる。
- 現状できる事だけでなく、理想に向けてサーバ等のリソースを強化できる予算組をしてほしい。